

<鍛錬坂第207号付録>

× 的を得る	的を射る ※「当を得る」はあり。
× 足下をすくわれる	足をすくわれる ※足下の地面をすくい取るのか？
× 声を荒げる	声を荒らげる(あららげる)
× 采配を振るう	采配を振る ※「ふるう」のは「腕」
× 新規巻き返し	新規まき直し ※「改めて種を蒔き直す」から
× しかめつらしい	しかつめらしい＝「まじめくさって緊張した」「堅苦しく、形式ばっている」 ※「しかめっ面」につられたか？
× 押しも押されぬ	押しも押されもせぬ 「 <u>押し</u> ことも <u>押される</u> こともない」 「 <u>押し</u> ても <u>押され</u> すらもせぬ(動かされることすらない)」＝ 「 <u>確固</u> たる <u>実力</u> 」 ※二つの「も」がとても分かりにくい
× 熱にうなされる	熱に浮かされる＝「高熱のため、うわごとをいう」でも使うが、「一つのことに熱中し、他を忘れて夢中になる」で使うことが多い
上意下達	もよういげだつ → じょういかたつ ※いわゆる「トップダウン」ですが、批判的文脈で使われることが多いかも。
舌鼓を打つ	もたづつみをうつ → したつづみをうつ ※「鼓(つづみ)」なので当然なのになぜか読み間違いが拡散
間髪を入れず	かんぱつをいれず → かんはつをいれず ※「間髪」という1つの語ではないので別々に発音する。 「 <u>間</u> に、 <u>髪</u> の毛1本の隙間もないほど直ちに」 ※「 <u>間一髪</u> (かんいっぱつ)」があるのでますます紛らわしい
役不足	その仕事をするには自分は未熟で力不足だ → その程度の仕事は自分がやるほどのものではない。仕事の方が自分の力量に対して不足だ
確信犯	悪いと分かっでいてやるやうな行為またはそれをもた大 ※但し、この誤用が俗語として認知されつつある。 → 本来は「政治的・思想的または宗教的信念に発して、それが(罪になるにせよ) <u>正しい事だと確信して</u> 行う犯罪またはそれを行う人」のこと。
～させていただく	「お願いして～させていただく」のであって、①相手または第三者の許可を得ているかどうか、②そのことで自分自身が恩恵を受けるのかが使う際のポイント。
片手落ち	不注意、不十分
足きり	(二段階選抜の) 一次選抜、予備選抜
手短に	簡潔に、端的に
めくら判 / めくら印	「内容を確かめずに押印する」などに言い替えるしかない。
男らしい / 女らしい / 女々しい	言いたいことに合わせてそれぞれ性別に拠らない別の表現を用いるしかない。
看護婦	看護師
キャリアウーマン	会社員など。「女子社員」はNG。

奈留高あるある：~~ギトミンナ~~ → バドミントン